EA345KM
（エンジンポンプ）

《仕様》

・ｴﾝｼﾞﾝ…0.7HP（2ｻｲｸﾙ）
・燃料ﾀﾝｸ容量…1.5L
・全揚程…42m
・ｻｲｽﾞ…227×282×311mm
・燃料…無鉛ｶﾞｿﾘﾝ
・最大吐出量…110L/分
・ﾎｰｽ口径…25m
・重量…6kg
・ホースバンド、ホースカップリング付属

《運転要領》

1. 運転準備

A）据付
出来る限り水面へﾎﾟﾝﾌﾟを近づけ、安定性の良い場所へ据付けて下さい。（ｴﾝｼﾞﾝが傾く様な据付けをされますと、ｴﾝｼﾞﾝが焼付く恐れがあります。吸込み高さが高いと、揚水量が減少したり、自吸時間が長くなりますので注意して下さい。）
B）燃料補給
潤滑油混合ｶﾞｿﾘﾝ（ｶﾞｿﾘﾝ25：ｵｲﾙ1）を補給して下さい。
C）吸水管の取付
吸水管は、ﾎｰｽｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞﾊﾟｯｷﾝの有無を確かめた上で、空気を吸わぬ様、充分締付けて下さい。先端には必ずｽﾄﾚｰﾅｰを付けて下さい。

2. 運転

A）ﾎﾟﾝﾌﾟ最上部の充水栓を外し、一杯になるまで呼水を入れて下さい。充水栓は完全に締めて下さい。（吐出側にﾊﾞﾙﾌﾞを付けた配管の場合は、必ずﾊﾞﾙﾌﾞを開けて下さい。）
B）燃料コックを開いてｴﾝｼﾞﾝの始動を始動してください。
C）ﾎﾟﾝﾌﾟの仕様回転数まで回転を上げ、しばらくすると揚水を始めます。（ｽﾋﾟｰﾄﾞｺﾝﾄﾛｰﾙﾚﾊﾞｰを一杯にしていただいた時が仕様回転数です。）
D）ｴﾝｼﾞﾝﾎﾟﾝﾌﾟは、自吸式ﾎﾟﾝﾌﾟですからﾎﾟﾝﾌﾟ内に水が一杯あれば自吸いたします。

3. 作業終了

A）ｽﾛｯﾄﾙﾚﾊﾞｰを全閉すると停止します。
B）凍結の恐れがある時や凝固する揚液を揚水した時は、必ずﾎﾟﾝﾌﾟ内の液を排出して下さい。

4. 保管

A）ﾎﾟﾝﾌﾟ内の液を完全に排出して下さい。
B）ｴﾝｼﾞﾝに雨水や埃がかからない様に注意して下さい。
C）運搬取扱いは出来る限り丁寧にして下さい。
D）長期間保管する場合は、燃料を必ず抜いて下さい。
E）長期間保管する場合は、ｴﾝｼﾞﾝの圧縮工程で保管してください。（ｺｲﾙｽﾀｰﾀを手で廻して重くなったところです。）

5. 注意

A）ｴﾝｼﾞﾝを運転する時は、必ずﾎﾟﾝﾌﾟ内に水を入れて下さい。（空運転はﾒｶﾆｶﾙｼｰﾙ破損の原因になります。）
B）運転中に吐出ﾎｰｽを重量物等にて踏まないで下さい。ﾎﾟﾝﾌﾟ部が破損する恐れがあります。

《不調の原因とその対策》

●故障 :自吸しない

･原因	･対策	･備考
1)ｴﾝｼﾞﾝの回転数不足	1)調速ﾚﾊﾞｰにより回転数を上げる	
2)呼水の不足	2)ｹｰｼﾝｸﾞ内が一杯になるまで再度 呼水を行う	
3)ﾒｶﾆｶﾙｼｰﾙから洩れ	3)交換する	3)ﾎﾟﾝﾌﾟとｴﾝｼﾞﾝの接続部下部 より液が洩れている様な時
4)吸込管不良	4) ｲ.吸込管に洩れがないか点検する ﾛ.吸込管内に空気溜りが出来る様な配管 になっていないか点検する ﾊ.ｽﾄﾚｰﾅｰ及びﾎｰｽに異物が詰まって いないか点検する	
5)吸込高さが高すぎる	5)ﾎﾟﾝﾌﾟを出来るだけ水面に近づける	5)最大吸込高さ7m
6)ｲﾝﾍﾟﾗｰ、ﾎﾞﾘｭｴｰﾄの 摩耗	6)摩耗が激しい時は交換する	

●故障 :揚水はするが水量及揚程が少ない

･原因	･対策	･備考
1)ｴﾝｼﾞﾝの回転数不足	1)調速ﾚﾊﾞｰにより回転数を上げる	
2)ｽﾄﾚｰﾅｰに異物が詰った	2)点検の上異物を除去する	
3)ｲﾝﾍﾟﾗｰに異物詰った	3)点検の上異物を除去する	
4)吸込不良	4) ｲ.吸込管に洩れがないか点検 ﾛ.吸込管内に空気溜りが出来ない 様な配管にする ﾊ.吸込管の途中が急に細くなって いないか点検する	
5)ｲﾝﾍﾟﾗｰ、ﾎﾞﾘｭｰﾄの摩耗	5)摩耗が激しい時は交換する	

●故障 :ｴﾝｼﾞﾝが回転しない

･原因	･対策	･備考
1)ｴﾝｼﾞﾝ不調		1)ｴﾝｼﾞﾝの取扱説明書参照
2)ｲﾝﾍﾟﾗｰに異物が詰った	2)点検の上異物を除去する	